

火星飛行の実現に向けた、 超大型ロケットの打ち上げが成功!



ファルコンヘビーで打ち上げられ火星に向かっているロードスターに乗るスターマン（地球を背景に自撮り）

2月7日(水) 5時45分、SpaceX社(米)がケネディ宇宙センター(米・フロリダ)からファルコンヘビーロケットを打ち上げました。

ロケットは正常に飛行し、打ち上げから約6時間後に予定の軌道で搭載したテスラ・ロードスターを分離、その後ロードスターは火星に向かう軌道に乗ったことが確認され、打ち上げは無事成功しました。

ファルコンヘビー

今回のファルコンヘビーロケットは、SpaceX社にとって最大にして初のテスト飛行になります。このロケットは、エンジンを9基搭載したブースター3機を束ねたもので、左右のサイドコアは過去のミッションで飛行したものとことです。

打ち上げから約2分半後、1段目のサイドコア2基が切り離されてケネディ宇宙センターに帰還しましたが、海上のドローン船に着陸する予定だったセンターコアは失敗したことが判明しています。



←ファルコンヘビーの打ち上げ



サイドコアの帰還→

テスラ・ロードスターとスターマン

今回はテスト飛行のため、ダミーパイロットとしてSpaceX社CEOのイーロンマスク氏所有の電気自動車「テスラ・ロードスター」に、同社開発の宇宙服を着た「スターマン」と名付けられたダミー人形を乗せています。ロードスターは、地球重力圏を脱出して火星に向かう軌道に投入され、太陽を中心に周回する人工惑星となりました。

イーロンマスク氏は自身のツイッターで、地球を背にした最後の「自撮り写真」と動画を公開しています。

